

## 挑む私学



同校の校長に  
就任予定の井上 紀氏

103年の伝統を誇る明星学苑（東京都府中市）は来年、「明星Institution中等教育部」を新たに開校する。この学校では、高度なカリキュラムに基づいた教育を6年間一貫しておこない、国内・海外の最難関大学に挑む力やモチベーションを育む。明星Institutionの校長に就任する井上一紀氏に、開校の経緯や目指す学校像について取材した。

## 明星Institution中等教育部

## 「実践躬行」をベースにした6年間一貫指導

1923年に「明星実務学校」からスタートした明星学苑は今や、幼稚園から高校までを擁する総合教育機関へと発展を遂げている。なかには幼稚園から高校まで15年間通う生徒もいるなど、多摩地区に根ざした学校として親しまれている。

そして来年、2026年には、国立と海外大学の進学に特化した6年制の学校を開校することになった。その名も明星Institution中等教育部だ。

中等教育部とは中学と高校の区別を設けず、6年間を1つのスパンとして指導する学校のことだ。中学から高校へ上がる際は卒業式や入学式もおこなわない。

明星Institutionを立ち上げるにあたってベンチマークとし

たのが、10年間で約700人を東大へ合格させている渋谷教育学園幕張中学校高等学校だ。

明星学苑は「**実践躬行**」

## 1万冊以上の洋書を誇る図書館を学習拠点に

創立当初から「**国際人の養成**」を掲げ、世界に貢献できる人材の育成に取り組んできた明星学苑は、明星Institutionでもグローバル教育に力を入れていく。アメリカのアイビリーグに多くの生徒を進学させている渋幕は、そういう点でもお手本として適していた。

そして明星Institutionを創立するにあたって白羽の矢を立てたのが、42年にわたり渋幕でキャリアを積み重ねてきた井上一紀氏だ。井上氏は渋幕シンガポール校で13年間教鞭を執ったほか、校長補

を教育理念とし、渋幕は「**自調自考**」を教育目標としている。言葉は違えど、どちらも自ら考えて行動する「**主体性**」に重きを置くという、共通点がある。

佐・進路部長として11年間、出口の責任者も務めている。

また明星



洋書を1万冊以上も蔵書する図書館

学苑の創設者である児玉九十氏の『国際人の養成』という考え方は今もなお最先端だと感じますし、その理念を受け継いでいる明星学苑であれば、渋幕での経験が活かせると感じました」と話す。

Institutionというめづらしい名称は実は、

## 説明会を重ねるに連れ感じられる注目度の高さ

既にオープンキャンパスや塾向け説明会を実施していて、回を追うごとに参加者は増えている。トップレベルの進学校のイメージしていることを伝えると、理解してもらいやすいようだ。

「多摩地区にこういう中学はなかった」という歓迎の意が保護者から聞かれるなど、面白みを感じてもらえているのではないかと手応えを語る井上氏。

また塾関係者には「先生方に見学に来ていただけなら、いろいろお伝えすることが可能です。」

## 来年開設！多摩から世界のリーダーを輩出する



最新設備を搭載した天体観測ドーム「スタードーム」

豊かで広々としているほか、視聴覚ホールやコンピュータ教室、さらには洋書を1万冊以上蔵書する図書館など、十分な環境や施設が整っている。

「他校では見ないほど充実した図書館の存在を知り、ここを学習の拠点に指導できると思っ

## 2教科の入試も含め初年度は複数回実施予定

ました。そして今後は、学習センターの設置も検討しています」

明星Institutionでは先取り学習を基本とし、中3の段階で高校の授業に入れるようカリキュラムを組んでいる。

指導にあたるのは、井上氏と一緒に渋幕から来る教員や渋幕の卒業生、さらには明星Institutionの考えに賛同した教員たちだ。

教員になる人たちにお願しているのは、手作りの教材を用意すること。既存の教科書や参考書ではなく、生徒たちの理解度や定着度を上げられるよう、教

材を手作りしてほしいと依頼した。かなりの負荷が想像されるが、それだけ熱意あふれる教員が集まっているといえる。

また募集する生徒像に関しては、まずは明星Institutionの実践躬行という教育理念に共感してほしいとしている。

入試についてはこれから詰めていくが、基本的には4教科を想定しているほか、開設初年度は多くの生徒に受験してもらうべく2教科での入試も実施するなど、複数回おこなう予定だ。

また問題の難易度に関してもこれから決めていくものの、渋幕と全く同じ問題を出すことはないほか、質問ポリシーについてもしっかり説明し、参考にできる情報を出していく方針だという。



約1,200名収容できる「児玉九十記念講堂」